

いこい通信

第17号

2023年7月

発行 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

「いこい通信」は、宮城県内で避難者支援にあたられている方々に、福島県からの県外避難者（広域避難者）の置かれている状況や、宮城県内・他地域における支援活動の様子等をお伝えする情報紙として発行しています。自らの意思に反して全国への分散避難を余儀なくされた方々が、避難先で適切な支援につながっていくための一助となることを目的としています。

■ ふくしま仙台サロン 2022年度開催レポート（2）

福島県から宮城県内に避難されている皆さんの定期交流会「ふくしま仙台サロン」。2022年度中には、これまで開催してきた室内の交流会や借上バスによる移動交流会のほか、少人数で街歩きをしたり、他の避難者交流会にお邪魔したりと、無理なく継続できる内容も取り入れ工夫しながら開催しました。

○11月1日

「秋の仙台市中心部を街歩き」（参加者5名）
街中に息づく歴史に触れる交流会として、仙台市の観光バス「るーぶる仙台」を活用し、自家用車ではアクセスしにくいスポットを巡りました。



○12月27日

「正月花を生けて新年を迎えましょう！」
（参加者15名）
「つなげよう花の心」実行委員会の皆さんにご支援いただき正月飾りの生け花をしました。



○2月6日

「交流サロンさくら」の皆さんと一緒に交流を
深めよう（参加者9名）
柴田町社会福祉協議会にて開催されている避難者交流会にお邪魔して、一緒に交流しました。



○3月1日

「今年度の振り返り&来年度の作戦会議！」
（参加者8名）
2022年度のサロンの振り返りと、これからやってみたいこと、行ってみたい所を出し合いました。



これらの交流会は2022年度福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金の支援を受けて開催しました。